

2017年 株主説明会



2017年10月2日

アステラス製薬株式会社

代表取締役社長CEO 畑中 好彦

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述及びその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知及び未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。様々な要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化及び関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品及び既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

本日の内容

I

経営理念とビジョン

IV

コーポレートガバナンス

II

持続的な成長に向けた
取り組み

V

CSR（企業の社会的責任） 経営

III

業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

本日の内容

I 経営理念とビジョン

IV コーポレートガバナンス

II 持続的な成長に向けた
取り組み

V CSR（企業の社会的責任） 経営

III 業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

■ 経営理念

アステラスの存在意義
先端・信頼の医薬で、
世界の人々の健康に貢献する

アステラスの使命
企業価値の持続的向上

■ VISION

変化する医療の最先端に立ち、
科学の進歩を患者さんの価値に変える

製薬産業を取り巻く環境変化

医薬品アクセスとイノベーションの両立は世界各国の共通課題

医療環境の変化

- さらなる高齢化の進展
- 数多くのアンメットメディカルニーズ

イノベーション促進の動き

- 科学技術・情報技術等の進歩
- 国の研究予算一元化
- 新薬承認審査の加速化



製薬企業の収益性低下

- 世界的な医療費抑制
- 製品ライフサイクルの短縮
- 研究開発費の高騰

創薬難度の上昇

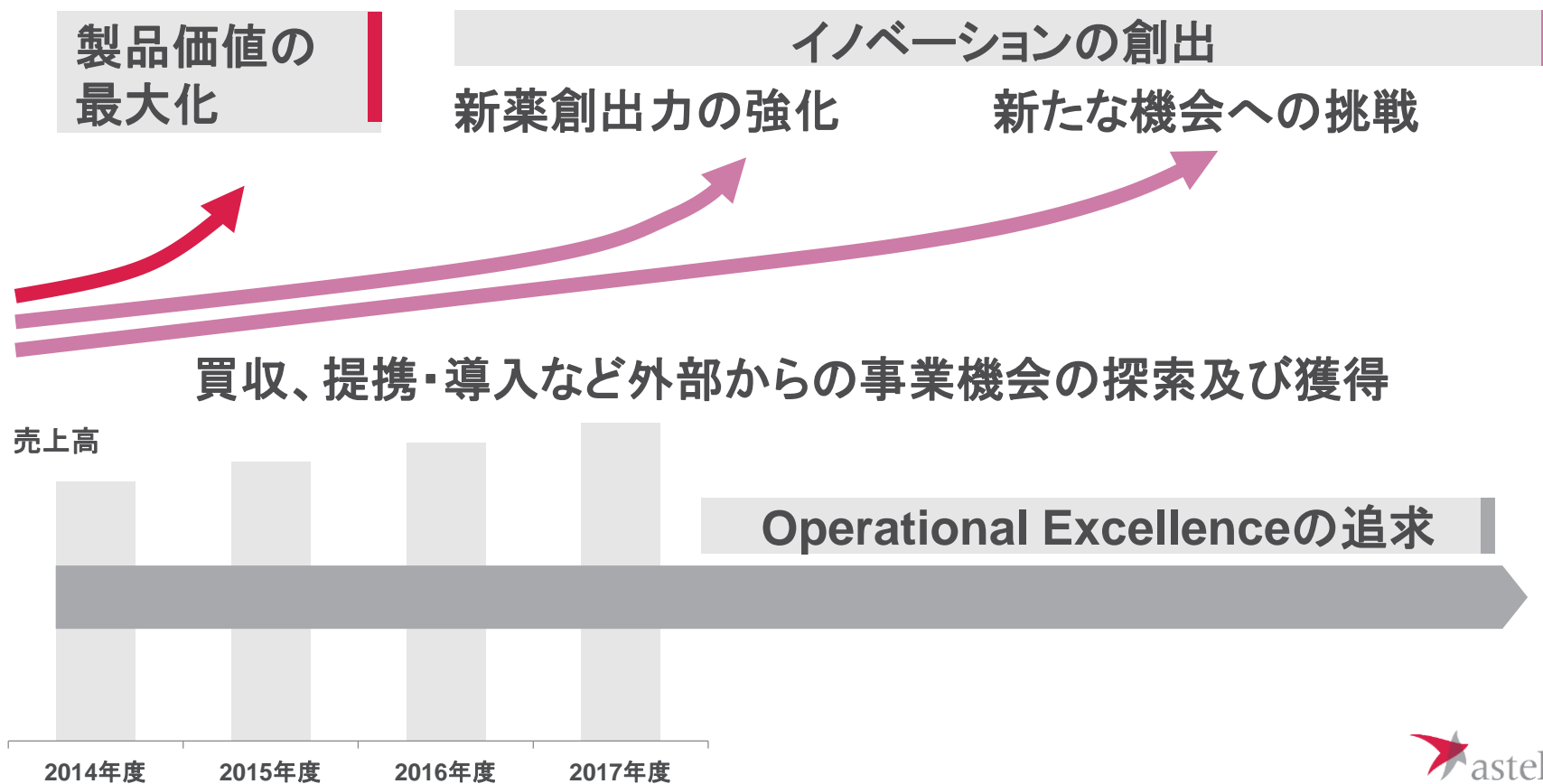
- 創薬標的の複雑化
- 新規技術導入の必要性

患者さんに革新的な価値を提供する機会が存在する

- アンメットメディカルニーズの高い疾患における新薬
- 細胞医療、遺伝子治療等の新たな治療手段
- 医療に応用可能性のある様々な新技術

持続的な成長を目指して（経営計画2015-2017）

新製品群が中期的成長をけん引する。更に、イノベーションへの選択的投資と運営基盤強化を継続することで持続的な成長シナリオを盤石なものとする



経営指標（経営計画2015-2017）

成長のための研究開発投資を継続しながら、営業利益率の一層の向上を目指す

ROE

15%以上
本経営計画期間以降も
この水準の維持・向上に取り組む

売上高	年平均成長率(%)は1桁台半ば
コア営業利益	売上を上回る年平均成長率
研究開発費	対売上高 17%以上
コアEPS	コア営業利益を上回る年平均成長率
DOE	6%以上

本日の内容

10

I 経営理念とビジョン

IV コーポレートガバナンス

II 持続的な成長に向けた
取り組み

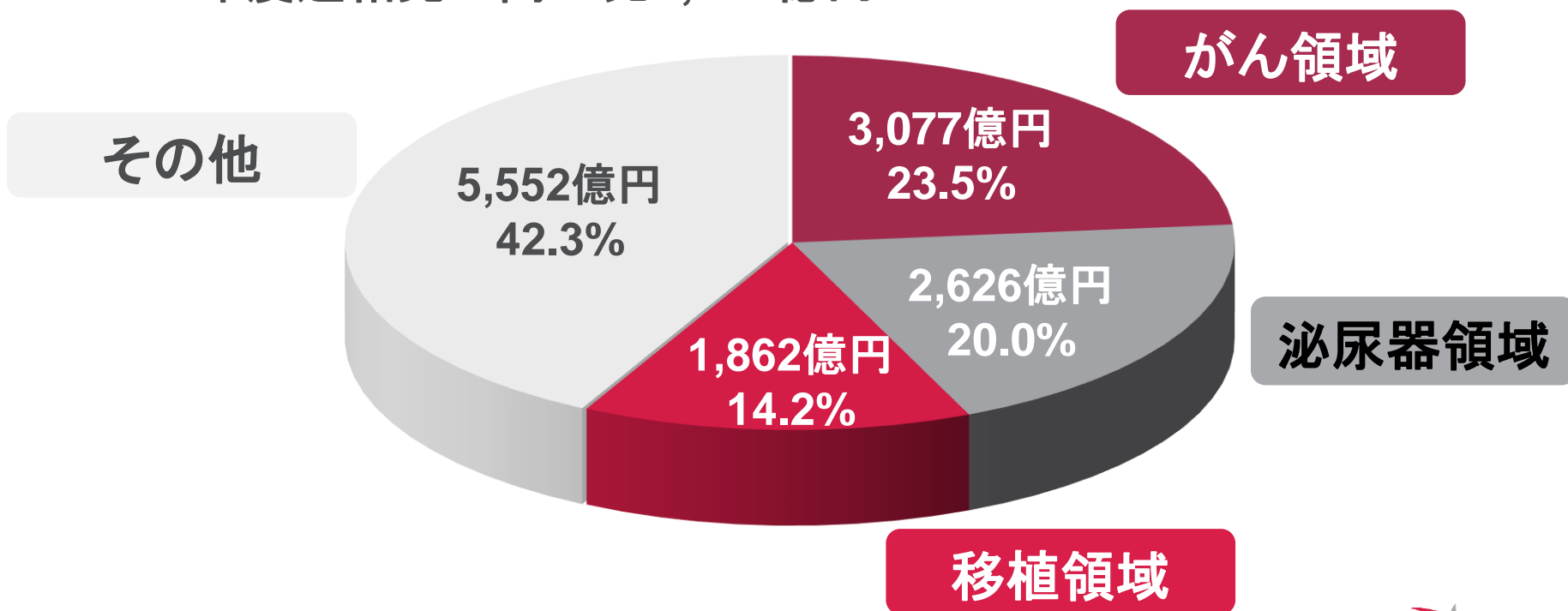
V CSR（企業の社会的責任）経営

III 業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

主要領域の売上高

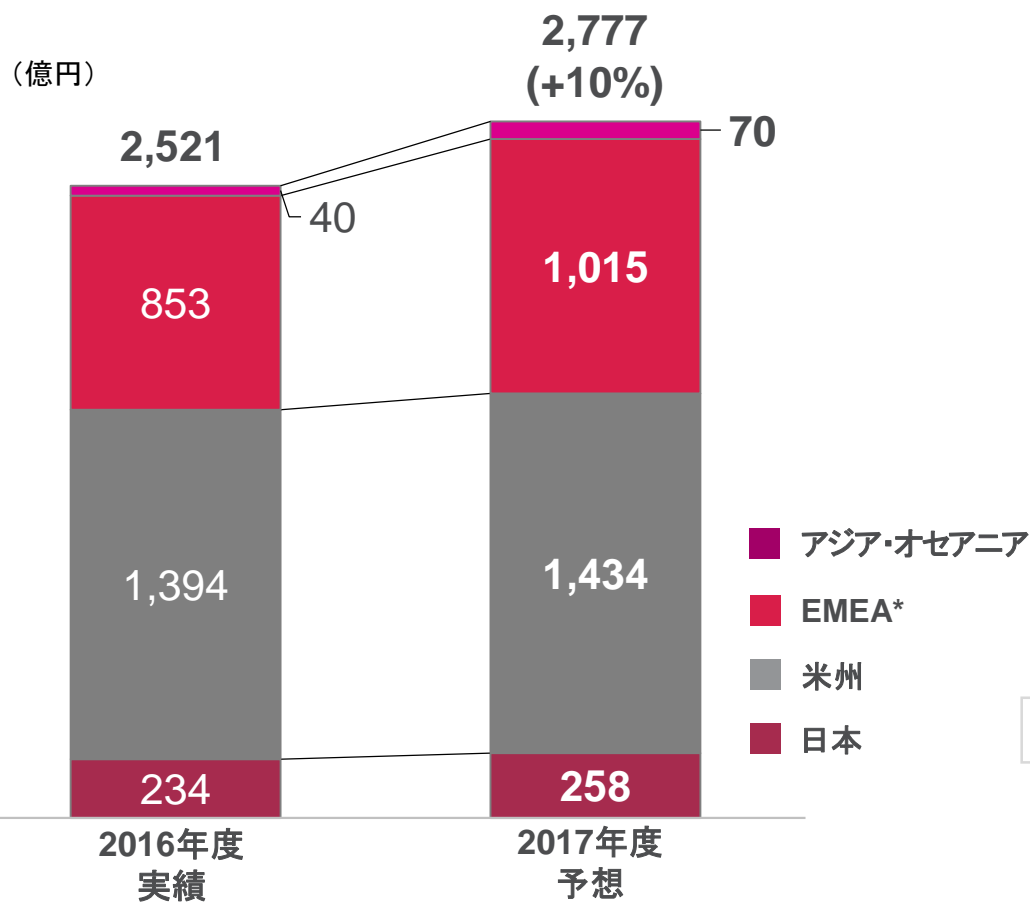
主要3領域で50%強
がん・泌尿器領域が成長をけん引

2016年度連結売上高:1兆3,117億円



XTANDI/イクスタンジ

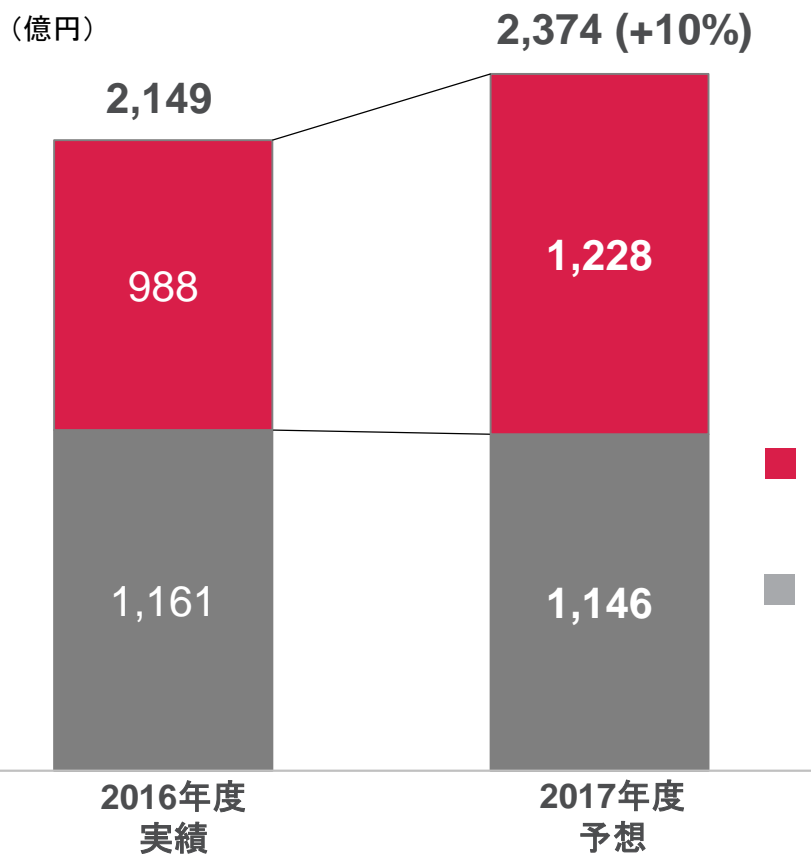
化学療法前の転移性去勢抵抗性前立腺がんで一層の浸透を目指す



前立腺がん治療剤 **XTANDI/イクスタンジ**

泌尿器OABフランチाइズ

ベタニス/ミラベトリック/ベツミガの成長によるフランチाइズの強化



過活動膀胱治療剤
ベタニス/ミラベトリック/ベツミガ



過活動膀胱治療剤
ベシケア

その他成長を支える主要製品

グローバル製品に加え、各地域における成長製品・新製品にも注力

日本

 **スーグラ®**

2型糖尿病治療剤

 **Symbicort®**
(budesonide/formoterol fumarate dihydrate)
Inhalation Aerosol

成人気管支喘息・
慢性閉塞性肺疾患
治療剤

 **セレコックス®**

消炎鎮痛剤

 **cimzia®**
(certolizumab pegol)

成人関節
リウマチ治療剤

16年度
4製品の売上高
1,040億円

 **レパーサ®** 16年4月に発売
高コレステロール血症治療剤

 **リンゼス®** 17年3月に発売
便秘型過敏性腸症候群治療剤

米州

 **Lexiscan®**
(regadenoson) injection

心機能検査補助剤

 **CRESEMBA®**
(isavuconazonium sulfate)
372 mg for injection · 186 mg capsules

侵襲性真菌感染症治療剤

16年度
2製品の売上高
773億円

イノベーションの創出

継続的なイノベーション創出を目指し研究開発力を強化

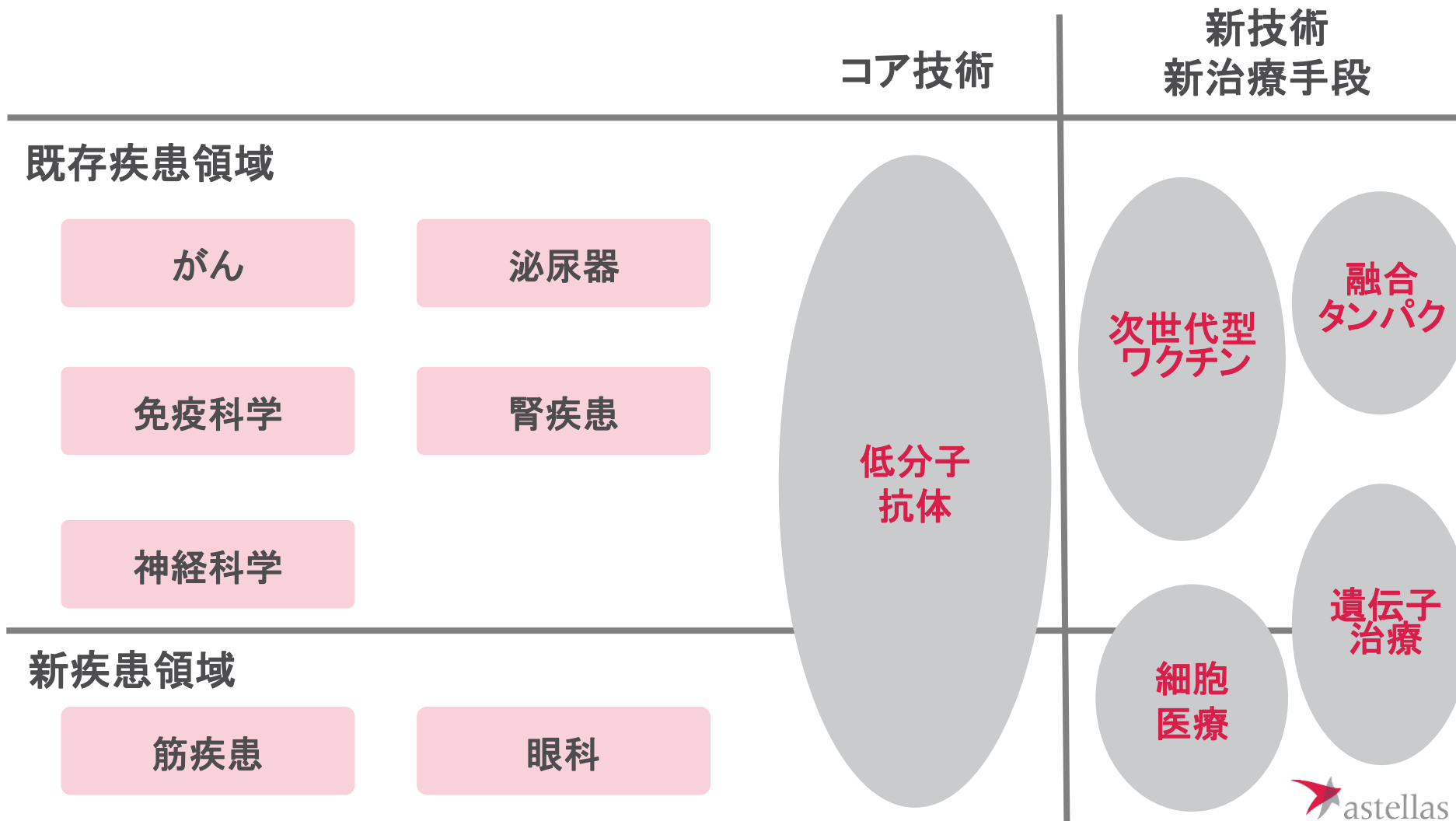
新薬創出力の強化

- ネットワーク型研究体制の強化
- 研究開発プロセス複線化の推進
- イノベーション創出を促進する人事制度と人材採用

新たな機会への挑戦

- 新たな疾患領域、次世代型ワクチンや細胞医療等の新技術・新治療手段にも積極的に挑戦

重点研究領域



ネットワーク型研究体制（2017年7月現在）

ネットワーク型研究体制による先端科学の取り込み



新薬創出力の強化

経営資源の最適配分による研究開発の効率化・迅速化

ネットワーク型研究体制

外部R&Dリソースの
更なる活用

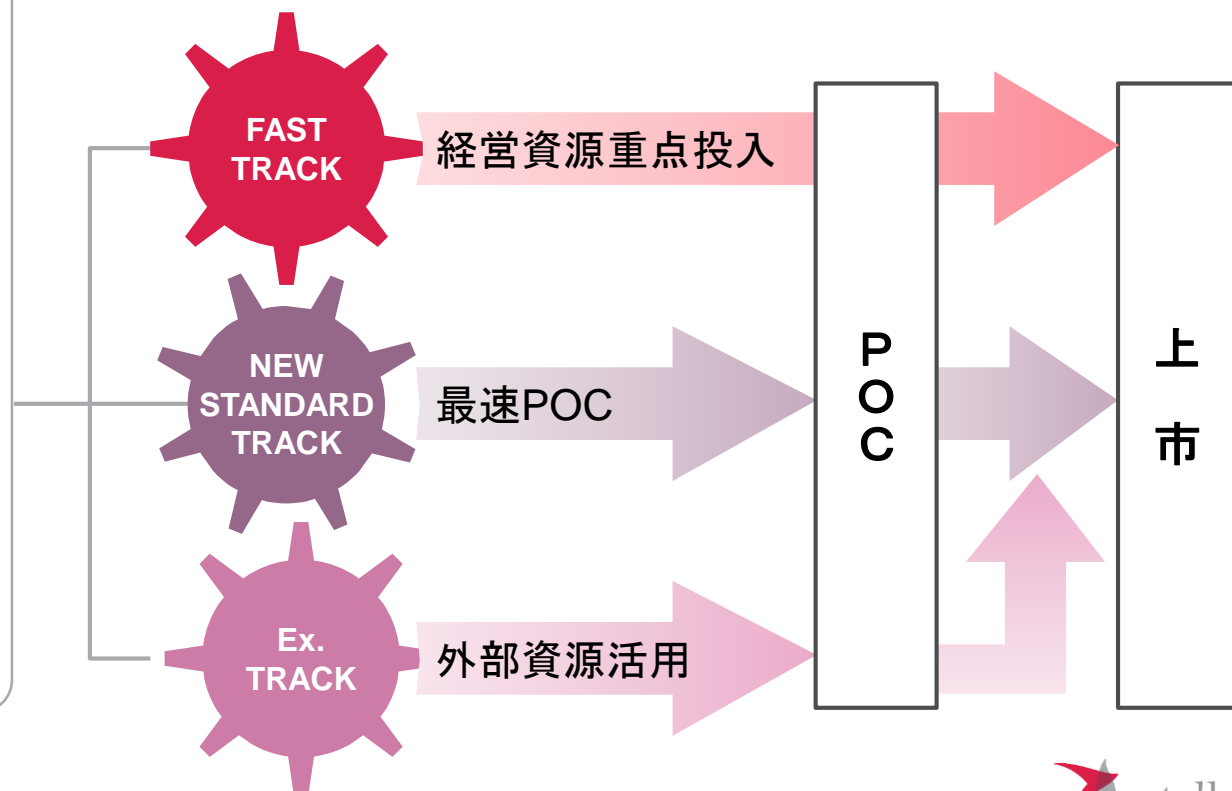
新たな疾患領域や
創薬基盤技術への挑戦

Best Science

Best Talent

Best Place

FASTEN (FAST-Ex-New-standard)



POC : Proof of Concept (臨床での有効性の確認)

外部機会の獲得

新領域・新技術への挑戦と新薬候補群の拡充



次世代型ワクチン



細胞医療の基盤強化



がんフランチャイズ強化



ユニークな後期開発品の獲得

新薬の開発状況 (2017年7月現在)

第1相試験

- ASG-15ME
- AGS67E
- ASP4132
- AGS62P1
- ASP6282
- ASP8302
- ASP7398
- ASP7713
- ASP4345
- ASP0892
- ASP1807/CC8464
- ASP6981
- MA-0211

第2相試験

- エンザルタミド[®](肝細胞がん)
- AGS-16C3F (腎細胞がん)
- ブリナツモマブ(AMG 103)
(急性リンパ性白血病、日)
- enfortumab vedotin
(ASG-22ME)(尿路上皮がん)
- IMAB362(胃食道がん)
- YM311/FG-2216 (腎性貧血)
- ASP8232 (糖尿病性腎症)
- ASP6294
(膀胱痛症候群/間質性膀胱炎)
- bleselumab (ASKP1240)
(rFSGS)
- ペフィシチニブ (ASP015K)
(関節リウマチ、米欧)
- ASP7962 (変形性関節症)
- ASP8062 (線維筋痛症)
- ASP0819 (線維筋痛症)
- ASP4070 (スギ花粉症、日本)
- ASP1707 (関節リウマチ等)
- ASP5094 (関節リウマチ)
- fezolinetant (ESN364)
(更年期に伴う血管運動神経症状)
- CK-2127107 (SMA、COPD、ALS)
- ASP7317 (RPE細胞プログラム)
(萎縮型加齢黄斑変性等)

第3相試験

- エンザルタミド
(M0 CRPC, M0 BCR: 米欧亜、
M1 HSPC: 米欧日亜)
- デガレリクス (3か月製剤、日)
- ギルテリチニブ (ASP2215)
(AML、米欧日亜)
- ミラベグロン
(小児神経因性膀胱、欧)
- ロキサデュスタット
(ASP1517/FG-4592)
(慢性腎臓病に伴う貧血、欧日)
- ペフィシチニブ(ASP015K)
(関節リウマチ、日亜)
- ASP0113/VCL-CB01
(HCT時CMV感染抑制、米欧日)
- フィダキソマイシン
(感染性腸炎: 日、小児: 欧)
- イプラグリフロジン
(1型糖尿病、日)
- リナクロチド(慢性便秘症、日)

申請

- エンザルタミド
(錠剤、欧日)
- ソリフェナシン
(小児神経因性膀胱、米欧)
- ソリフェナシン/
ミラベグロン
(併用療法、米)
- タクロリムス
(小児用顆粒製剤、米)
- ロモソズマブ(AMG 785)
(骨粗鬆症、日)
- イプラグリフロジン/
シタグリプチン
(配合剤、日)

疾患領域:

- がん
- 泌尿器、腎疾患
- 免疫科学、神経科学
- その他
- 新規分子/細胞成分

期待している製品・開発品

多くの新薬候補が今後の成長をけん引



現在の成長製品

ソリフェナシン/
ミラベグロン
(過活動膀胱 併用療法)

エボロクマブ
(心血管アウトカム試験)

リナクロチド
(慢性便秘症)

ロモソズマブ
(骨粗鬆症)

短期的に
貢献し始めることを期待

(申請済又は2017年度に申請予定)

ギルテリチニブ (急性骨髄性白血病)

エンザルタミド
(前立腺がん 追加適応)

enfortumab vedotin (尿路上皮がん)

IMAB362 (胃食道接合部腺がん)

ロキサデュスタット (慢性腎臓病に伴う貧血)

ASP0113
(造血細胞移植時のサイトメガロウイルス感染抑制)

ペフィシチニブ (関節リウマチ)

fezolinetant
(更年期に伴う血管運動神経症状)

中期的な貢献を期待
(2018年度以降)



OPERATIONAL EXCELLENCEの追求

環境変化に対応できる組織・仕組みを構築
オペレーションの一層の高質化・効率化を推進



具体的な取り組み

組織・機能の見直し

- グローバル機能の強化（コンプライアンス、法務、知的財産）
- 製薬技術本部の再編

経営資源の最適配分

- グローバル皮膚科事業を譲渡
- 米国の生産子会社の全株式を譲渡
- 長期収載品*16製品について譲渡する資産譲渡契約を締結
- 米国アジェンシス社の研究活動終了（新技術・新治療手段への投資拡大）

本日の内容

24

I

経営理念とビジョン

IV

コーポレートガバナンス

II

持続的な成長に向けた
取り組み

V

CSR（企業の社会的責任） 経営

III

業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

2017年度 業績予想 (2017年4月27日発表)

(国際会計基準(IFRS)コアベース)

(億円)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減率
売上高	13,117	12,790	-2.5%
研究開発費 売上高比率	2,081 15.9%	2,180 17.0%	+4.7%
コア営業利益	2,746	2,540	-7.5%
コア当期純利益	2,133	1,950	-8.6%
1株当たりコア当期純利益 (円)	101.15	94.43	-6.6%
【為替レート】	2016年度 実績	2017年度 予想	変動
ドル:期中平均	108円	110円	2円安
ユーロ:期中平均	119円	120円	1円安

2017年度 第1四半期決算概況 (2017年7月28日発表)

26

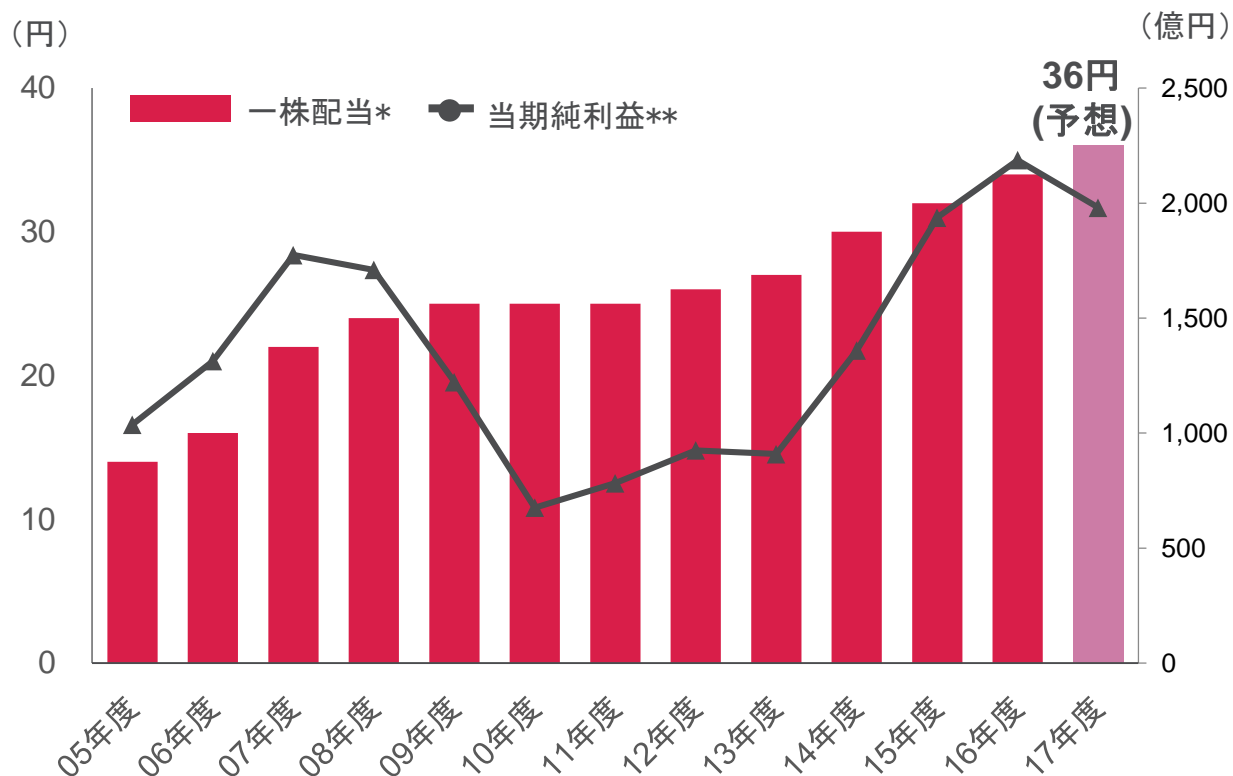
(国際会計基準(IFRS)コアベース)

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減率	(参考) 為替・事業譲渡 の影響を除いた 増減率
売上高	3,378億円	3,226億円	-4.5%	-1%
コア営業利益	940億円	651億円	-30.7%	-8%
コア四半期純利益	671億円	519億円	-22.7%	

利益配分等に関する方針

成長を実現するための事業投資を最優先
 中長期的な利益成長に基づく安定的かつ持続的な配当水準の向上
 機動的な自己株式取得の実施



自己株式の取得状況 (直近3年)

	総額 (取得株数)
2016年度	914億円 (6,000万株)
2015年度	1,192億円 (6,800万株)
2014年度	582億円 (3,831万株)

本日の内容

28

I 経営理念とビジョン

IV コーポレートガバナンス

II 持続的な成長に向けた
取り組み

V CSR（企業の社会的責任）経営

III 業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

コーポレートガバナンス体制の一層の強化

監督と業務執行の分離、監督機能の強化

- 過半数を独立社外役員で構成
取締役会（6名中、社外役員4名） 監査役会（5名中、社外役員3名）
- 取締役会の諮問機関として、任意の「指名委員会」「報酬委員会」を設置

業務執行の意思決定の迅速化と内部統制システム

- エグゼクティブ・コミッティの設置
- グローバルマネジメント機能の強化
- グローバル・コンプライアンス委員会等の各種委員会等を設置

本日の内容

30

I 経営理念とビジョン

IV コーポレートガバナンス

II 持続的な成長に向けた
取り組み

V **CSR（企業の社会的責任） 経営**

III 業績予想、決算概況
利益配分等に関する方針

社会課題の解決と企業価値の長期的な向上を両立

Access to Healthへの取り組み

シャーガス病に関する共同研究



Access Acceleratedへの参画



経口コメ型ワクチンに関する共同研究



(コレラ・毒素原性大腸菌)
(ウイルス性腸管下痢症)

Action on Fistulaプログラムの支援

**Action
on Fistula**

ドーピングの防止

世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) との契約締結



ドーピングを目的とした医薬品の誤用や乱用の防止に向けた連携

持続的な成長の実現

変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変える

新技術・治療手段

新疾患領域における
製品の発売

既存疾患領域における
後期品目の発売と
成長

ONCE-DAILY
Xtandi
(enzalutamide)

VESIcare
(sildenafil succinate)
5mg, 10mg tablets

Myrbetriq
(mirabegron)



戦略的な経営資源配分

- ・皮膚科事業の譲渡
- ・米国生産子会社の譲渡
- ・長期収載品16品目の譲渡
- ・米国アジェンシス社の研究開発活動終了



*Astellas Institute for Regenerative Medicineに名称変更

変化する医療の最先端に立ち、
科学の進歩を患者さんの価値に変える

